

## 一般社団法人宮崎県理学療法士会第 69 回理事会議事録

1. 理事会の種類 第 69 回理事会
2. 召集年月日 2020 年 10 月 9 日（金）
3. 開催場所 宮崎リハビリテーション学院
4. 開催日時 2020 年 10 月 17 日（土） 15 時 00 分～
5. 出席者

役職名	出席（委任）	出席者氏名
理事	11 名（4 名）	中田、浜口、湯地、迫田、常盤、大森、小川、貴嶋、柚木、吉良、平島（田村、井上、竜田、清水）
監事	1 名	門川
局長	3 名	高月、大寺、前原
役員	9 名	青山、垣内、落合、市來、石川、小川、福永、阿久根、財津
事務局	2 名	加藤、小八重

定刻に至り、高月事務局長より定足数の報告後、定款第 36 条 1 項に基づき理事会成立の旨を伝え、中田理事の挨拶の後審議に入る。

### 【報告事項】

#### 1) JPTA 組織運営協議会、臨時総会の報告

中田会長より報告がなされた。組織運営協議会について、10 月 11 日にリモートで開催。2021 年度の日本理学療法士協会会費の件については減額の方で検討がなされているとのこと。会館設立の積み立てとして徴収していた 1,000 円については今年度で終了となる見込み。重点課題として、組織運営（体制）の強化となる地域リハビリテーション体制の構築が報告された。次期システムについては 2022 年 4 月に全体本稼働の予定。演題管理システム、会員管理システム、新生涯学習システム（登録理学療法士、認定・専門）の構築について報告があった。臨床実習指導者講習会について、日本理学療法士協会ではリモートでの開催は認めていない。半田会長より、講習会自体の質の担保に加え、グループワークを行う環境の問題があると指摘があった。臨時総会では、会館設立についての報告などがなされた。

#### 2) 令和 2 年度リハ専門職の事業所等派遣支援事業に係る協議の報告

中田会長より報告がなされた。10 月 13 日に宮崎県理学療法士会事務局にて、宮崎県福祉保健部長寿介護課、宮崎県作業療法士会津輪元会長、当士会より事務局を加えて協議を行った。派遣対象は、延岡市、小林市、串間市、五ヶ瀬町の 4 市町村。各市町村から回答のあった意向調査票の内容から、今年度は PT・OT がメインとなって派遣事業に対応。対象市町村との個別の調整に入る前に打ち合わせを実施（五ヶ瀬町については延岡市と合同）。10 月下旬から 11 月初旬を目途に打ち合わせを行い、事業の開

始は早くても打ち合わせ後 11 月からになる予定。宮崎県作業療法士会と当士会より人選を行い事業に対応する。人選については各ブロック長を中心に検討してほしい。

3) 宮崎県リハビリテーション協議会事務連絡方法について

中田会長より報告がなされた。宮崎県ケアマネ合同研修会実行委員会ならびに DWAT 検討委員会において、現在まで当士会事務局が窓口となり対応してきたが、士会業務量の増大に加え事務員が欠員しており、また情報を集約することで時間的なロスが生じている状況にあるため連絡方法の検討が必要。委員会出欠確認などの事務連絡についてはグループ LINE を使用することになった。

4) ネットバンキングの運用について

加藤部長より説明がなされた。宮崎銀行のネットバンキングについて運用開始の準備が整ったので、当士会役員には口座振替支払申請書の提出をお願いしたい。後日、事務局より各役員へ申請書のデータを送信する予定。必要事項の記入と捺印の上、通帳の表紙及び見開きのコピーを添えて事務局へ返信することで登録が完了となる。なお、振込手数料の件もあるので、可能な限り宮崎銀行での登録をお願いしたい。

5) リモート会議システム webex 代理主催について

加藤部長より報告がなされた。Cisco Webex Meetings でミーティングをスケジュールする際、参加者メンバーを代理の主催者に指定できる方法がある。主催者アカウントに追加することでスケジュールされたミーティングの代理主催者に指名することが可能。代理主催者に指名されたユーザーは、開始時間以降であれば事務局 PC 以外の端末からでもミーティングを開始または終了することができる。登録には時間的な余裕を持って依頼してほしい。webex を使用しての会議や研修会を開催する場合、主催者となる役員が申請書を記入し、必ず担当理事の承認を得てから事務局まで提出することが再度確認された。

6) その他

- ① 垣内部長より報告がなされた。地域包括推進リーダーおよび介護予防推進リーダー研修について、12 月と 2021 年 1 月にリモートで開催予定。リモートでの開催となるが、ポイント付与などについては確認済みである。
- ② 吉良理事より報告がなされた。9 月 30 日に介護支援専門員とリハビリテーション専門職との合同フォーラムに参加。コロナ禍における情報伝達の確認や、12 月にシーガイアで開催予定の研修会についてはハイブリッド型となる等の報告がなされた。
- ③ 前原局長より報告がなされた。令和 2 年度腰に優しい介護技術普及事業の研修会

について、派遣会員へのレクチャーを 10 月 23 日にリモートで開催予定。研修会の実施については出前が中心になる予定だが、研修会に会員を派遣できない事例も考えられる。開催時期については 2 月中旬までとしている。

柚木理事より追加で提案がなされた。冊子 900 部を有効に活用することを考え、講座内容を DVD に録画したものを各施設へ配布してはどうか。対面以外での講座が認められるかについては高月事務局長が宮崎県に確認することとなった。

- ④ 平島理事より報告がなされた。令和 2 年度腰に優しい介護技術普及事業の介護機器体験会について、日本福祉用具供給協会から協力は難しいとの連絡があった。介護機器体験会についても高月事務局長が確認することとなった。

### 【審議事項】

#### 1) 障害福祉サービスの有識者の推薦について

中田会長より説明がなされた。日本理学療法士協会職能課より、「障害福祉サービス報酬改定」における現場の課題把握や要望内容の策定に向けた事業の推進について、都道府県から有識者を募り現場の意見を収集したいとの依頼があった。審議の結果、今回の依頼については該当者なしとして返答することで承認された。

#### 2) 第 10 回杉浦地域医療振興賞及び杉浦地域医療振興助成の募集について

中田会長より説明がなされた。選考対象に「研究者、専門職（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、介護福祉士等）、その他（自治体、NPO、ボランティア等）の方で、全国に波及する可能性を有する活動を行っている団体・個人」とあるが、PTは施設の中で業務を行っておりそこから活動が発展しているものが対象となると推薦が困難ではないか。審議の結果、今年度は該当者なしとして処理することで承認された。

#### 3) 2021 年度宮崎県理学療法士会会員会費減額の検討

高月事務局長より説明がなされた。2020 年度上半期の事業執行と下半期の見込みについて、当士会全部局から収入と支出の情報を収集。会費減額を行う場合、定款から総会（臨時総会）での決議が必要。なお、12 月 14 日までに金額を日本理学療法士協会へ報告することで、事務処理を協会が行ってくれるとのこと。減額対象者については、2020 年度の会費納入済みでかつ 2021 年の会費を納入する会員に限定されている。審議の結果、減額の方で検討することが承認された。詳細については 11 月開催の理事会にて決定する

#### 4) 提出議題

##### ① 令和 2 年度 九州ブロック教育・学術担当者会議の報告

貴嶋理事より説明がなされた。10 月 10 日に九州ブロック教育・学術担当者会議

がリモートで開催。研修会と学会について、上半期は延期および中止になっている県が多い状況。下半期についてはリモートと対面の両方で参加規模を縮小するなど感染対策を行って開催する県が多数であった。今後の研修会の在り方としてリモートでの開催が増えることから著作権の問題が挙げられ、講師や参加者への対応などについて議論がなされた。当士会においてもリモートでの研修会開催にあたっては、参加者による録音・録画の防止、入退室管理（ポイント付与）、通信ダウンへの対応など検討が必要である。

今年度の当士会学術局事業として、12月1日のブロック研修会と2021年2月7日の理学療法士講習会をリモートで開催する予定。臨床実習指導者講習会は2021年1月16・17に都城リハビリテーション学院で対面での開催を予定。感染対策として、100名規模の会場に定員40名としているほか、グループワークについては教室を分けて対応。

来年度の事業として、理学療法士講習会についてはハイブリッド型で3回開催、臨床実習指導者講習会も3回開催する方向で企画している。

#### 【その他】

- 1) 会員異動等の承認について承認された。
- 2) 今後の日程について

次回の理事会については、2020年11月7日（土）15時を予定。

議事録署名人として議長及び理事を選出し、16時30分に散会した。

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人これに署名（記名押印）する。